



# Activity Report 2019

京都府立農業大学校活動記録

# 目次

目的、組織	2
農学科1年生	3
農学科2年生	5
平成31(令和元)年度学校行事	7
きずなサロン事業の取組	10
学生主体性開発プログラム	16
就業・就農に向けた取組	18
令和元年度卒業生の進路	20
各種資格・免許の取得	21
研修科	22
農大マルシェ2019	25
卒業生のスマイル	27

## 本校の特徴

### ①しっかりと生産能力を身につけることができます。

豊かな自然に囲まれた環境で、農業生産の専門的知識を中心としたカリキュラムです。農家や農業法人への派遣実習、インターンシップを行います。

### ②現実的な経営能力を身につけることができます。

農家・農業法人と連携した経営分析、市場現場や販売活動を通してのマーケティング経験を行います。

### ③幅広い視野と強固な実践力を身につけることができます。

実習を中心としたカリキュラムで実践力を身につけるとともに、現場と連携した座学によって幅広い視野の現実的な知識と方法論を習得することができます。

### ④社会人として不可欠なコミュニケーション能力を身につけることができます。

寮生活や地域活動を通して、幅広い人間関係とコミュニケーション能力を身につけることができます。

### ⑤在学中に就農などに必要な資格等を取得することができます。

農業簿記検定試験や狩猟免許等の就農に有利となる資格を取得するための講義を受講することができます。

### ⑥全寮制での生活を通して、規則正しい生活が身につく、豊かな人間性が獲得でき、幅広い人間関係を構築することができます。

### ⑦卒業後も、府内7箇所にある京都府農業改良普及センターが就農した卒業生を密着して支援します。

### ⑧授業料・入学料の免除を受けることができます。

一定の条件を満たす者は、授業料及び入学料相当額の貸与を受けることができ、卒業後5年間京都府内で就農(雇用就農を含む)した場合は、全額、返還が免除されます。



## 目的

農業を志す方や農業者に対し、農業に関する技術や知識を習得していただくための教育や研修を行うことにより、農業の担い手となる人材を養成します。

## 組織

### 農学科 (2年制)

農業の担い手を養成するための実践的な教育

○野菜経営コース ○茶業経営コース

■修学年数・定員 2年(全寮制)・1学年20人

■教育内容 収益性の高い京野菜や宇治茶生産の担い手となる人材を養成するため、実践的な栽培技術や経営手法を習得するための授業を行っています。

教養科目	国語Ⅲ 情報処理Ⅱ 農業基礎	専攻科目 野菜経営コース	園芸演習、葉根菜類 果菜類、花き類 園芸施設概論Ⅱ 園芸経営Ⅱ
共通科目	農業簿記、経営分析 植物生理Ⅱ、農業基礎、作物概論 園芸概論(野菜・花き) 農業経営、作物保護 農業機械、農業機械操作論 土壌肥料、農産加工・調理 農学実験、就農計画、農政時事 気象学、市場流通論、 マーケティング論 農業生産工程管理(GAP) 農業生産工程管理(GAP)演習 主体性開発プログラム	専攻科目 茶業経営コース	茶業概論、茶業演習 茶生産Ⅱ、茶製造 茶病虫害・茶土壌肥料 茶審査・製茶化学 茶経営Ⅱ
		実習 共通	基本実習 専門実習 作物実習 農家派遣実習

### 研修科 (短期)

多様な担い手を養成するための研修講座等

○ステップイン講座 ○農業機械士養成研修  
○緑の学園

# 農学科 1年生

入学後、農機具や小農具の使い方などの基本を習得します。緊張感をもって取り組みました。



実習で日常的に使用する運搬車(トップカー)の操作方法を学びました。



農業の基本である鍬や鎌などの小農具の基本的な使い方を学びました。

授業では基本的な知識を習得する他、農業生産工程管理(GAP)など実践的なことも学びます。



GAPについて講義や構内点検を通して、基礎的な知識や考え方を学びました。

実習は野菜経営コースと茶業経営コースに分かれて行います。

## 野菜経営コース



キュウリなど野菜の接ぎ木方法について学びました。



トラクターの操作方法を学び自らは場の耕耘作業を行いました。



各野菜の出荷調整の仕方を学び実際に直売所などへ出荷販売しました。



日本の農業の基礎である水稲については野菜経営コースでもしっかりと学びました。

## 茶業経営コース



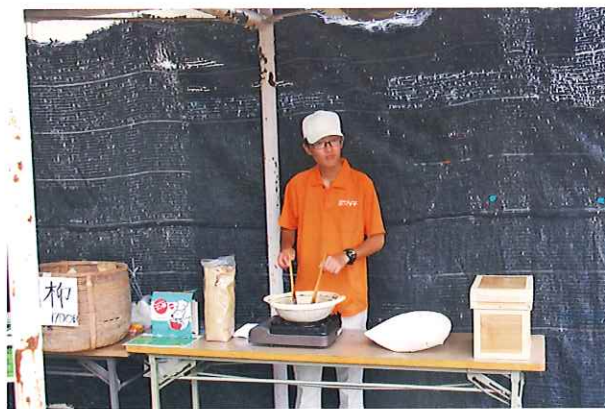
### 被覆作業開始!

おいしい玉露にするために全員の力を合わせて被覆資材を閉じていきます



### 茶製造

摘採してきた生葉を蒸機に投入中  
うまく蒸せるかな?



### ほうじ茶の実演販売

香ばしい香りでお客様を引き寄せ中  
(農大マルシェにて)



### 野菜も栽培しました

トラクターの運転にもすっかり慣れました!

# 農学科2年生

## 野菜経営コース

### 施設野菜グループ

養液栽培など施設園芸にかかる技術の基礎を中心に学びました。



施設野菜グループのメンバー



ロックウール耕トマトの収穫作業

### 伝統野菜グループ

京の伝統野菜を中心に一般野菜も幅広く学びました。



伝統野菜グループのメンバー



トマトの接ぎ木技術を習得

### 露地野菜グループ

露地野菜栽培を中心に、ハウス内での栽培技術も学びました。



露地野菜グループのメンバー



管理機でハウス内の耕耘作業

### 野菜・花きグループ

野菜栽培を中心に、花き栽培についても学びました。



野菜・花きグループのメンバー



切り花の調整作業

## 茶業経営コース



### 乗用摘採機を囲んで

お茶の栽培・製造にはチームでの取り組みが欠かせません。

1年生と一緒に団結して頑張りました。

### 可搬型摘採機での摘採

さすが2年生、両側の2名の息はぴったりです。



### 山城地域の茶業を視察

南山城村の生産者の茶園で直がけ被覆の体験をさせていただきました。

### 販売実習への参加

農大の新茶をおいしく淹れて  
イベントの参加者に振る舞いました。  
(新茶まつりにて)



# 平成31(令和元)年度 学校行事

## 平成 31.4.9 入学式

野菜経営コース12名、茶業経営コース3名、合計15名の新入生が農大生活をスタートさせました。高校卒・大学卒のフレッシュな人材が集いました。入学にあたり河村校長が激励しました。



## 平成 31.4.16 歓迎スポーツ大会

新1年生を温かく迎え入れ、スポーツを通して会話が生まれました。



## 令和 1.5.30~5.31 東海・近畿地区農業大学校生スポーツ大会

三重県で大会が開かれ、東海近畿地方から9校(約500名)が参加し、6種目で熱戦が繰り広げられました。本学は4種目の競技に出場し、他校との交流を深めました。



## 令和 1.7.20 農大マルシェ2019

農業大学校を府民の方々や入学志望者に知っていただくとともに、農業の魅力を多くの人に伝えるため、地元の農業団体や福知山高校三和分校等に参加いただき、「農大マルシェ2019」を開催しました。

詳細は、  
25ページ~26ページに  
掲載しています。



## 令和 1.10.8 体育祭

教職員も参加し、秋の一日を楽しみました。



## 令和 1.10.16 農作業安全講習会

農作業による事故を未然に防ぐためには、農業機械の構造や安全な使い方を理解し、常に安全作業を心がける必要があります。京都府農業機械士協議会から講師を招き、農学科の学生を対象とする農作業安全講習会を開催しました。



## 令和 2.1.16～17 東海・近畿ブロック農業大学校学生研究・意見発表会(滋賀県近江八幡市)

各学年で選抜された代表2名が参加しました。2年生はこの1年間取り組んできたプロジェクトの結果を受け、就農する際の品目と規模について分析した結果を発表。1年生はこれから取り組むプロジェクトを就農後の経営にどう活かすかを意見発表しました。

結果として、意見発表の部で1年生の青山さんが2位となり、全国大会でブロック代表として発表することになりました。

### 京都府立農業大学校からの発表



#### 研究発表の部

2年生 福居明日佳(野菜経営コース、京都市出身)  
「野菜・花卉栽培の複合経営の検討」

#### 意見発表の部

1年生 青山実樹(野菜経営コース、京都市出身)  
「農業のビジネス経営に夢を抱いて」

## 令和 2.2.12~14 全国農業大学学校等プロジェクト発表会・意見発表会(東京都)

2年生1名と1年生3名が参加し、全国5ブロックから選抜された発表者の発表を聞き、参加している学生と交歓して見聞を広めました。東海・近畿ブロックの意見発表の部で2位の青山さんの発表は、全国でも高い評価を受け、2位の特別賞を受賞しました。



## 令和 2.2.21 実践プロジェクト成果発表会

2年生が1年間取り組んできた実践プロジェクトの成果を発表しました。

1年間農産物の生産・販売に携わって得た結果を分析・評価し、多くの出席者から助言や激励を受けました。

### 2019年度 実践プロジェクト課題一覧



コース名	専攻	氏名	発表課題名
野菜経営	施設野菜	あさい 浅井 颯太	土耕栽培での高収益を図るために
		いもり 岩森 勝也	トマトの養液栽培をメインとした農業経営
		きむら 木村 千紗都	ミニトマトの変わり種の需要
		やまくち 山口 杏海	トマトのロックウール栽培
	伝統野菜	かわさき 川崎 康平	トマトとキュウリを中心とした複合経営
		のぐち 野口 寧々	水稲を中心とした栽培
		はしもと 橋本 昌尚	万願寺トウガラシを軸としたプロジェクト
	露地野菜	まつお 松尾 誠	ニンジンとナス(庄屋大長)の複合経営
		あべ 安部 なな彩	多品目栽培
		たなか 田中 いつき	ネギを中心とした野菜経営
野菜・花き	にしかわ 西河 たかのぶ	水稲を中心とした複合経営	
	あだち 足達 かずたか	京たんごメロンを中心とした野菜・花き栽培	
	おかだ 岡田 たけまさ	周年収入がある経営を目指す	
	ふくい 福居 明日佳	ヒマワリを中心とした野菜・花卉栽培の複合経営の検討	
	ふくだ 福田 りうな	バラの所得補完計画~なるべく労働競合せずに限界まで頑張る~	
茶業経営	あかい 赤井 かあな	季節ごとの茶	
	ひろた 広田 唯	茶とその他作物の複合栽培	
	まきの 牧野 ようすけ	茶とその他野菜栽培での収益アップ	

## 令和 2.3.2 知事表敬訪問(令和元年度卒業生)

京都府立林業大学学校と合同で表敬訪問を行い、農業大学学校からは農学科卒業生代表5名が京都府庁を訪問しました。

学生達は農林水産部長、農林水産部各課にあいさつした後、知事を訪問し、2年間お世話になったお礼を述べ、農大で勉強したことや卒業後の進路、将来の夢や今後の抱負を語りました。



# きずなサロン事業の取組

## (1) 地域とのきずな

### ●地域イベントで農大産農産物販売活動

農大で生産した農産物を地域のイベント等で学生自らが販売することにより、消費者の動向やニーズを肌で感じて学ぶとともに、来店者との対話等を通じてコミュニケーション能力を養成しています。

6月15日(土)	JA彩菜館新茶まつり(綾部市)
7月10日(水)	府庁生協地産地消フェア(府庁生協内)
10月5日(土)	第29回あやべ産業祭
10月19日(土)	綾のまちめぐりフェス(綾部市西町商店街)
11月17日(日)	豊里地区文化祭(綾部市栗町)
12月11日(水)	府庁生協地産地消フェア(府庁生協内)



### ●身近にできる社会貢献活動「献血」の取組み

年月日：令和元年12月2日(月) 主催：府赤十字献血センター

農大は、毎年、血液が不足する冬期に、府赤十字献血センターの献血に協力しています。今年も移動献血車を招き、学生達が講義や実習の合間をぬって献血に協力しました。



学生や教員他、計20名が献血を行いました。



贈るきもち つなぐいのち「献血」。社会協力の心が育っていきます。

## (2) 企業経営者・異業種講座

### ●卸売市場で流通の仕組みを学び、農業研究所を見学する

年月日 令和元年11月26日(火)

場所 京都市中央卸売市場第一市場、京の食文化ミュージアム・あじわい館、農林センター園芸部

参加者数 36名(全学生、職員5名)

京都市場ではセリの様子、市場の施設（あじわい館を含む）を見学し、セリによる価格形成が公正に行われていること、近郷野菜が大切に扱われていること等を学びました。

農林センターでは、スマート農業の研究状況について、万願寺とうがらしの事例を元に、温度・水分を測定し自動管理することで秀品率や収量が向上したこと、装置自体は低価格で設置できる等説明を受けました。

学生は普段、直売所に出荷するため自分たちで値段をつけますが、市場で高く評価される機会となる市場出荷にも関心を持つことができました。



市場での野菜の出荷状況や荷姿について学びました



セリの臨場感に圧倒されました



あじわい館で市場の概要について学びました



京の食文化に関する展示を見学  
だしの飲み比べ



農林センターのほ場を見学



スマート農業への理解が深まりました

## ●特別授業「キャリアデザイン」

就農の姿を自分らしく創造していくための特別授業「キャリアデザイン」を開講しました。

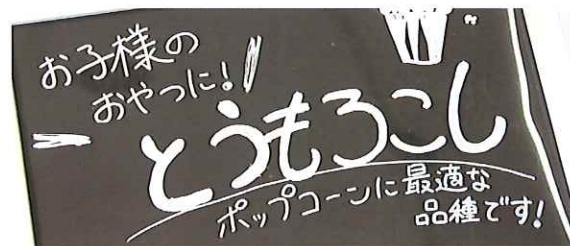
### ■「POP作成講座」

年月日 令和元年6月4日(火)

場 所 農業大学校

出席者 1年生14名

内 容 「キャッチコピーの作り方」「うまく見せるコツ」等について、南山城村商工会 北西孝司氏から講義を受け、学生たちが生産している農産物を題材にして、消費者の目につきやすい品名や価格を示したPOPを作成しました。



### ■「農業簿記検定試験対策講座」

年月日 令和元年6月13日(木)  
令和元年6月24日(月)  
令和元年7月1日(月)

令和元年11月6日(水)  
令和元年11月18日(月)  
令和元年11月19日(火)

場 所 農業大学校

農業大学校

出席者 2年生12名

1年生13名、2年生12名

内 容 7月・11月に実施される「農業簿記検定試験」に合格するための対策講座を開催し、集中的に学びました。



### ■「京都府における新規就農支援制度」

年月日 令和元年7月2日(火)

場 所 農業大学校

出席者 1年生13名、2年生18名

内 容 「京都府の担い手育成支援制度」について、京都府農林水産部経営支援・担い手育成課の職員から講義を受けました。講義では、京都府の農業の現状と特徴、新規就農・就業の支援施策、農業者の発展段階に応じた支援施策、京都の農業ビジネスを支援する各種事業等について学びました。



## ■「高齢者声かけ体験」

年月日 令和元年7月9日(火)

場 所 農業大学校

出席者 1年生12名

内 容 認知症を理解するための「認知症サポーター養成講座」を受講した後、グループに分かれ、実際に声をかける体験をしました。



## ■「SNS対策講座」

年月日 令和元年7月10日(水)

場 所 農業大学校

出席者 1年生13名

内 容 インターネットは、使い方を間違えると情報の漏えいやトラブルにつながるリスクを秘めています。インターネットを安心安全に利用できるよう正しいルールや注意点、怖さ等について学びました。



## ■「有害鳥獣対策」

年月日 令和元年10月1日(火)

場 所 農業大学校

出席者 1年生13名

内 容 有害鳥獣の種類、農作物の被害状況と対策について、京都府農林水産技術センター農林センター職員から講義を受けました。また、実際にほ場で鳥獣対策の電気柵を設置する実習も行いました。



## ■「労働保険・社会保険に係る講習」

年月日 令和元年10月30日(水)

場 所 農業大学校

出席者 1年生13名

内 容 農業者に必要な労働保険及び社会保険制度について、京都府担い手スペシャリスト 坂根省吾氏から講義を受け、知識を深めました。



## ■「法人が求める人材等」

年月日 令和元年11月12日(火)

場 所 農業大学校

出席者 1年生13名、2年生15名

内 容 「法人が求める人材等について」というテーマで講義を受け、法人の一員として仕事に向き合う姿勢や「報連相」の大切さなど社会人としてのコミュニケーションの重要性を学びました。



## ■「農業者年金制度」

年月日 令和元年11月15日(金)

場 所 農業大学校

出席者 1年生13名、2年生15名

内 容 農業者だけが入れる公的年金『農業者年金』制度について、京都府農業会議の前田和也氏から講義を受け、知識を深めました。



## ■「ジビエの普及促進」

年月日 令和元年11月28日(木)

場 所 農業大学校

出席者 1年生13名、2年生18名

内 容 中丹広域振興局農林商工部の担当者から、野生鳥獣の捕獲を推進することで、被害の低減が期待できることから、ジビエ利用の現状や課題、取組、狩猟鳥獣等について学びました。



## ■「就職活動における心構え」

年月日 令和2年2月17日(月)

場 所 農業大学校

出席者 1年生13名

内 容 東京都ジョブパークの職員から、就職する際の心構えや模擬面接の体験を行い、就職活動に向けての学習をしました。



## ■「基本のコミュニケーション」

年月日 令和2年2月18日(火)

場 所 農業大学校

出席者 1年生13名

内 容 東京都ジョブパークの講師から、社会人として必要な人とのコミュニケーションの基本をワーク形式で学びました。





# 学生主体性開発プログラム

日本経済団体連合会（経団連）が2018年に行った「高等教育に関するアンケート結果」によると、企業が求める学生の資質、1位は「主体性」となっています。当校では、JICAが採用しているPBL (Project-based Learning) 手法を参考に4年前から「学生主体性開発プログラム」を導入しています。

このプログラムには、大きく2つのねらいがあり、①農業経営者あるいは組織の構成員として仕事を円滑に進める能力と、②組織の内外で他者と協力しながら目標を達成する能力を養うことです。

## ● 計画検討会

①広報 ②販売実習 ③観光農園  
④コラボの4つのチームにわかれ、今年度の計画について話し合い、その結果を発表しました。



## ● 各チームの連携活動

ジャンボカボチャを使用したハロウィンカボチャを各チーム1つ制作し、投票を行った。



優勝したハロウィンカボチャ

## ● 広報チームの活動

Facebookの自主運営によって、実習や学校行事等の様子を学生の目線で情報発信の回数を増やした。みのりの館に意見箱や掲示板を設置した。Facebookの更新についてはかなり頑張り、反響も多くあったのでやりがいにつながった。



職員室にてFacebookの更新作業

## ●販売実習チームの活動

学園祭でミニトマト、ナス、トウガラシ、スイートコーンの食べ比べを行い、多くの消費者にすく喜んでもらうことができ、プロジェクトが成功したことで、自信がついた。



食べ比べの様子

## ●観光農園チームの活動

学園祭でメロン、伏見トウガラシ、スイカの収穫体験を行った。みのりの館ではキュウリのグリーンカーテンの設置を行った。収穫体験では、多くの消費者に喜んでもらい、こちらも自信につながった。



メロンの収穫体験の様子

## ●コラボチームの活動

他団体が主催するゼロ農企画（農地でないところを土を一から作りそこで農作物を育て、収穫を行うプロジェクト）に参画した。当校学生が、ゼロ農の農地に行って、6月に定植したトマト、キュウリ、ピーマン、ナス、伏見トウガラシ等野菜の追肥・剪定作業等を、実際に作業を見せながら他の参加者に農業技術を指導した。学生自身自分の強みを知り、自信をつけることができた。また、東海近畿ブロックスポーツ大会で、学生の統一感を高め、他大学の学生と積極的にコミュニケーションを図るため、統一パーカーの作成を企画立案実行し、やりきることができ、かなり自信がついた。



他大学の学生に  
トマトの栽培方法を教える学生

学生たちは、学習を通じて楽しさや充実感、達成感を味わうとともに、立ち止まって悩んだり、失敗して挫折感を味わうこともありました。この経験が学生たちを成長させ、卒業後の仕事や社会生活に生かされることを願っています。

# 就業・就農に向けた取組

## (1) 先進農家への派遣研修(1年生)

1年生全員が、各自の出身地を中心に農業経営の現場で農作業を体験しました。

- 目的
- 農業経営の現場で農家又は農業法人の指導の下、実習を受けることにより幅広い生産技術や経営を学ぶ
  - 農家生活を体感する
  - 就農に向けた情報を得る

### (派遣先)

農業生産法人や農家へ  
13名を派遣

期間 6月17日(月)から6月28日(金)まで10日間(平日のみ)



茶の刈り落とし作業



ナスの出荷準備中

## (2) 農業生産法人等への就農体験実習

目的 生産や農業経営の現場を実体験するとともに、就業を前提とした実習を行うことにより、雇用側に学生の技量や農業に対する姿勢を把握してもらい、雇用へつなげる。

期間 4月以降、1回あたり1日から3日程度(12月まで随時実施)

### 体験先

農業法人や農家で延べ30名が体験

### 体験実習先一覧

(合)丹波の里ひぐち農園、升谷畜産鴨谷分場、(株)堀井七茗園、D-matcha(株)、  
(株)グリーンファーム京都、(株)利招園茶舗、吉田農園、誠農海部(株)、(株)八百一の郷、(株)天野、  
(株)誠武農園、(株)村田農園、(株)ふるさと農園、(株)おさぜん農園、堀田農園、(株)秋田農園、  
(株)京都山城の郷、(株)あぐり翔之屋、藪内農園、(株)八百丹、おくだばらえん、(株)山末農園、  
(株)野井農園、なかがわファーム

### (3) 新規就農希望者と農村を結ぶ集いに参加(1年生・2年生)

年月日 令和元年7月28日(日)

場 所 現地及び農業大学校

目 的 農業者や農業法人、農村地域の代表者と、就農や就業に関する相談や情報交換を行い、就農就業の知識を深め、進路決定に役立てる。

京都府農業会議主催の「新規就農希望者と農村を結ぶ集い」が農業大学校等で開催され、農大からは7名の学生が参加しました。

現地見学では農大卒の新規就農者と農業法人を見学した後、交流会ではアドバイザーからの確かな助言をいただき、農業法人での実習体験受入の相談が進む等、有意義な集いとなりました。



人材募集中の法人担当者等と交流

### (4) 中丹地域農業士訪問

年月日 令和元年10月31日(木)

訪問先 櫻井農園、リフレかやの里、高橋農園、山本農園

目 的 地域農業の担い手となっている農業法人や農業青年、模範である農業士の経営状況に学び、就農目標の実現に活かしていく。

中丹地域農業士会と共催で「農大生現地見学会」を行いました。

学生28名が、茶を経営している指導農業士と万願寺とうがらし、露地野菜を経営している農業青年2名を訪問し、それぞれの方から就農経緯、経営の考え方等についてお聞きしました。

また、農産加工、レストラン、入浴・宿泊施設を運営している『よさのうみ福祉会』の農福連携の取り組みについても見学しました。

移動バス内や昼食後の意見交換会で農業士や中丹地域の普及指導員と交流し、就農実現に向けて日頃の授業では得られない見聞を深めました。

学生は、「農家は助け合いで成り立っていることがわかった」「実際に農業で生活していく厳しさで大変さを感じた」「将来、農産加工を考えているが加工施設は見る機会が少なく参考になった」等の感想を述べました。

この取組みは、「農業後継者の育成・確保」に活動される農業士会事業に位置づけていただき平成23年度から開催しているもので、中丹3市を巡に見学しています。



農業士から茶園の説明



農業士との交流会にて学生から質問

## (5) 草刈り検定

期 間 令和元年7月～令和元年11月

場 所 農業大学校内

対 象 2年生

農業機械操作論実習（刈払機）の授業で学んだ作動原理、点検・整備及び安全に使用しているか、丁寧かつ迅速に草刈りができるかを確認する「草刈り検定」（学科、実技試験）を実施しました。

その結果、1級に7名、2級に11名が合格しました（1級：学科、実技とも80点以上、2級：60点以上）。



## 令和元年度卒業生の進路

農業関係就職率 94% 就農・就業率 78%

就 農	2名	木津川市で親の経営を継承して就農、福知山市で親元就農
農業法人等への就業	12名	(株)堀井七茗園、浅水三区園芸部、誠農海部(株)、(株)八百一の郷、(株)おさぜん農園、吉川農園(坊八)、(株)京都山城の郷、(株)農夢、(株)山末農園、(株)新田農園、なかがわファーム など
農業関係就職	3名	JA京都市、JA京都
そ の 他	1名	

# 各種資格・免許の取得

就農・雇用就農時に役立つ大型特殊自動車免許(農耕車限定)等の資格取得に取り組んでいます。



大型特殊自動車(農耕車)免許の試験 (2.1.23)

校長から  
合格証書を  
授与

● 農業簿記検定合格者



● 狩猟免許(わな猟)合格者



種 別	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	合 格	合 格	受 験	合 格
狩猟免許(わな猟)	6	0	7	7
日本茶アドバイザー	0	0	—	—
日本茶インストラクター	—	—	2	0
毒劇物取扱者	0	0	2	1
日本農業技術検定 1 級	0	0	2	0
日本農業技術検定 2 級	3	8	25	2
日本農業技術検定 3 級	20	12	11	9
農業簿記検定 2 級	1	1	6	1
農業簿記検定 3 級	5	6	26	1
危険物取扱者(乙種第3類)	—	—	1	1
危険物取扱者(乙種第4類)	0	0	4	2
小型車両系建設機械運転特別教育	20	18	12	12
小型フォークリフト運転特別教育	16	16	—	—
大型特殊自動車(農耕車)免許の試験	19	22	14	13
農業機械士	19	22	14	14

# 研修科

## 令和元年度 研修科の講座

### ●就農ステップイン講座

**内 容** 農地があり本格的な就農を目指している方々が、野菜の栽培技術を実習し、就農に必要な知識や情報を学ぶ講座

**時 期** 令和元年9月8日(日)、9月23日(月・祝)、10月6日(日)、10月27日(日)、11月17日(日) 全5日間

**対象者** 数年の間に本格的な就農を目指し、耕作可能な農地を用意できる方

**受講者** 17名

府内各地から受講された方々は、聖護院だいこんと聖護院かぶ、ほうれんそうの種まきから収穫までの実習と、新規就農者や農外新規参入者の体験談等、座学とあわせて熱心に受講され、農業との関わりを深めました。



ダイコンの種まき



トラクターの操作法を学ぶ



ダイコンの収穫作業



草刈機安全使用講習

## ●緑の学園

緑の学園は、農業を志す高等学校在校生を対象に、農業の実習体験などを通じて、農業への理解と担い手への意欲の高揚を目指すことを目的に実施しています。

### ■ 畜産部門・農業機械部門

**内 容** 畜産や農業機械に関する実習などを通じて、農業後継者の育成・確保を図ります。畜産部門では、畜産センターと連携し、乳牛の審査、アイスクリームの加工方法について学びました。また、農業機械部門では、京都府農業機械士協議会の協力を得ながら、トラクターの構造や運転方法、耕うん方法を学びました。

**時 期** 令和元年7月26日(金)(全一日間)

**対象者** 高等学校在校生で将来就農を目指す生徒

**受講者** 40名

**参加校** 峰山高校(弥栄分校)、農芸高校、綾部高校、福知山高校(三和分校)、須知高校



乳牛の審査をしました。



アイスクリーム加工を体験しました。



トラクターの構造について学びました。



トラクターの運転、耕うん方法を学びました。



## ● 農業機械士養成研修

内 容 農業機械に関する高度な安全知識と整備・運転・利用技術を習得する研修

時 期 11月5日～11月14日(全8日間)

対象者 農業者等

受講者 8名



講義の様子



トラクターの走行練習



トラクターの運転練習



機械整備の実習



トラクターの運転練習



技術検定(大特試験)

# 農大マルシェ2019

農大と学生自治会は、広く府民の皆さまや入学志望者に農大や農業の魅力を知っていただくため、中丹地域の各種団体さまと連携を図りながら、農大産の野菜・茶・花や地域のこだわり加工品等を販売する「農大マルシェ2019」を、7月20日(土)に開催しました。

当日は650人の方々に来校いただき、とてもにぎわいました。



太鼓衆「乱れ組」による「めおと太鼓」披露  
農大卒業生も仲間に入っています。



校長と来賓の方々での荒なわカットによる  
オープニング



農大生が作った新鮮な野菜を販売!!  
新鮮な野菜が安く買えると大好評でした。



茶業経営コースの学生は、ほうじ茶づくりを実演し、  
いい香りが広がりました。



入学相談ブースでは17組の方が相談に来てくださり  
学校案内に参加されました。



トマト、ナス、トウガラシ、トウモロコシを数品種ずつ  
食べ比べてもらい、購入の参考にしてもらいました。



高級メロンの収穫体験



日本茶インストラクターによるおいしいお茶の淹れ方教室



みず菜の収穫体験



京都府農業機械士協議会  
便利な小農具の展示即売



京の農林女子  
ネットワークによる活動紹介



学生による学校案内



同時開催の子牛とのふれあいは多くの家族連れで賑わいました。



ナスの収穫体験

# 卒業生の スマイル



## 平成31年3月卒業生

### 古屋敷 凜平さん

私の実家は南部地域であり非農家です。卒業後も、2年生時に先生方から教わったことを毎日のように思い出しています。そのおかげで、現在は、農大時に栽培していたトマトを少しずつ任せて頂いています。

私の就農先は、周年の軟弱野菜、旬の野菜の多品目栽培であるため、まだまだ覚えることも非常に多いですが、自分が培ったものを大いに活用し、将来的には、指導者としても活躍できるように頑張っていきたいです。



### 上羽 佑弥さん

私は農家の出身で、実家ではネギを中心とした複合経営をしていました。しかし、連作障害の発生などにより年々栽培が困難になってきていると感じ、今後の経営方針について参考になれば良いと思い入学しました。

農大へ入学した当初は実家との違いに戸惑うことも多かったですが、先生方が親切に教えてくださったので、作物によって適した栽培方法があるということをしっかりと学ぶことができました。

農大で学んだことを活かして、今後は自分なりの経営を行っていきたくと考えています。



### 黒川 尚輝さん

実家が建設関係の会社と水稻栽培を行っている兼業農家で、子どもの頃から家業の手伝いをしていました。農業系の高校へ進学し、「将来はトマト農家になる」そう思って農業大学校へ入学しました。

現在、京田辺市にある農業法人で働いています。トマトを中心としており、トマトの管理作業を行なっています。今は会社に貢献できるように腕を磨き、将来は独立することを目標にしています。農大で得た技術、知識、仲間を大切に、これから精進していきます。





### 川嶋 洋暁さん

私の家は非農家で、不安もありましたが、サポートしていただける先生方や先輩方がおられて知識のほとんどない私でも農業について学び、身に付けることができました。

現在、弥栄町にある水菜、小松菜などを有機栽培している農業法人で働いています。スーパーや百貨店、飲食店のお客様に喜んでもらえる野菜を届けるため日々努力しています。農大で学んだことを今後も活かして、新しいことにチャレンジしていければいいと思います。

### 出口 昌樹さん

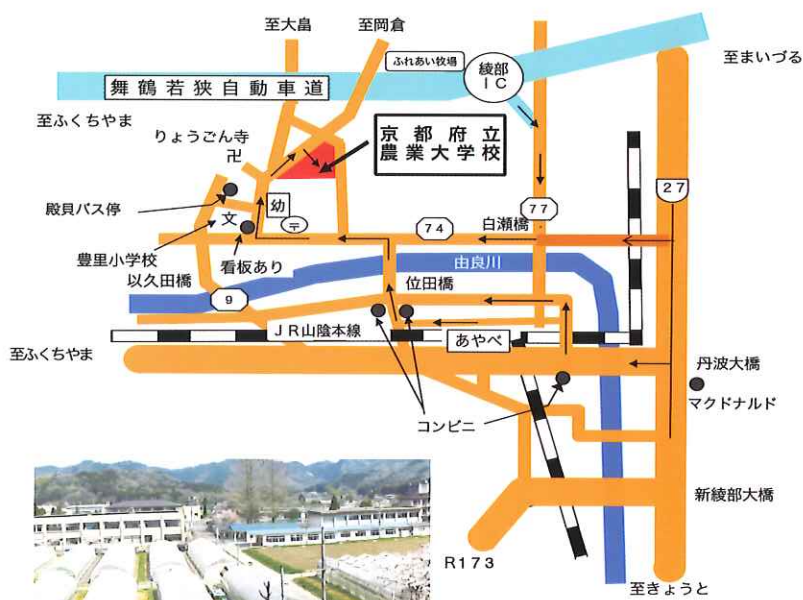
亀岡市の実家を出て、南丹市の有限会社の社屋に住み込んで仕事に励んでいます。日・火・木曜日は、会社の加工品の一つである「豆腐」づくりに取り組んでいます。最初は固まらないことがあったりして苦労しましたが、先輩に丁寧に教えていただき、なんとか商品として出荷できるようになりました。他の日には田植や水田の畦草刈りなどに励んでおり、地域特産物の黒大豆も定植しました。



### 枚野 正さん

京都市伏見区の農家に就職しました。一週間のうち月、水、日は野菜類を京都市内の料理屋やスーパーに配達しています。配達先の多くが市内北部なので、まだ道を十分憶えきれないでいます。配達の間には、水田、露地畑、ハウスで水稲や多くの野菜類の管理作業を任されています。就職先はこだわりの有機栽培農家なので、農薬を使わない水田雑草対策など農大では体験したことのない作業にも従事しています。

## アクセス



- タクシー** JR山陰本線「綾部駅」下車 北西へ約5キロ  
JR綾部駅からタクシーで約10分
- バス** あやべ市民バス JR綾部駅南口から「志賀南北線」に乗車  
「殿貝バス停」下車 徒歩30分(※便は1時間に1本の割合です)
- 車** 舞鶴若狭自動車道「綾部インター」を出て、府道77号を南に進み  
府道74号を西へ、豊里小学校を北に折れて岡倉方面に進む

# 京都府立農業大学校

〒623-0221 京都府綾部市位田町桧前30  
TEL:0773-48-0321 FAX:0773-48-0322  
E-mail:kyo-nodai@pref.kyoto.lg.jp  
URL:http://www.pref.kyoto.jp/kyonodai/